

**研究名**

病棟薬剤師による抗菌薬に関する薬学的介入内容の調査と今後の課題

**1. 研究の対象**

2022年10月から2023年3月までの6ヶ月間の病棟薬剤師の処方介入症例を対象とした。

**2. 研究目的・方法**

済生会横浜市南部病院（以下、当院）では、病棟薬剤師による処方介入や多職種からの相談内容を病棟薬剤業務日誌に記録している。特に、様々な患者に使用される抗菌薬は、医薬安全・治療向上の観点からも、処方介入や相談内容の現状を把握するべきだと考える。そこで、病棟における抗菌薬に関する薬学的介入の状況を把握して、今後求められる能力や課題を見出し、抗菌薬適正使用を推進することを目的に調査を実施した。

**3. 研究に用いる情報の種類**

観察研究

**4. 外部への情報の提供**

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報は個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

**5. 研究組織**

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 大塚 瞭

**6. お問い合わせ**

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。

病院代表：045-832-1111（内線 255）

担当者：薬剤部 大塚 瞭

薬剤部 長澤 彩華

薬剤部 加藤 一郎